

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性



平成19年度日本赤十字社鹿児島県支部決算報告（一般会計）

平成19年度 歳入

内 訳	金 額	割 合
社資収入	276,437,271円	85.6%
前年度繰越金・事業収入・その他	46,678,080円	14.4%
歳入合計	323,115,351円	

平成19年度 歳出

内 訳	金 額	割 合
災害救護事業等	26,589,081円	9.22%
救急法等講習会	12,770,088円	4.43%
赤十字奉仕団・青少年赤十字の育成等	21,079,251円	7.31%
医療・献血事業等	3,408,773円	1.18%
赤十字思想普及等	48,486,654円	16.81%
国際救援活動等	41,570,590円	14.42%
市町村における赤十字活動	48,559,464円	16.84%
救護看護師の養成	4,501,710円	1.56%
管理事務等	50,021,488円	17.35%
施設整備準備資金等の積立と施設の維持	31,395,560円	10.89%
歳出合計	288,382,659円	

翌年度繰越金（歳入合計－歳出合計）	34,732,692円
-------------------	-------------

平成二十年度第一回評議員会を開催

～平成十九年度歳入歳出決算承認される～

六月二十四日（火）鹿児島市内のホテルにおいて、評議員二十九名（うち代理十三名）、監査委員一名が出席し、「平成二十年度第一回日本赤十字社鹿児島県支部評議員会」が開催されました。

評議員会においては、岩重副支部長の挨拶のあと、平成十九年度主要事業の実施状況及び平成十九年度歳入歳出決算について審議され、原案通り承認されました。

また、欠員となっていた監査委員については、前野田町長の吉満重人氏（現出水市社会福祉協議会会長）を選出することも承認されました。評議員からは、五月に発

生した「ミャンマーサイクロン災害」「中国大地震災害」への日本赤十字社の対応やAEDを含む救急法等各種講習会の実施状況、青少年赤十字の加盟促進等について質問があり、評議員の皆様方が赤十字の事業に大きな期待を寄せられていることを再認識する機会となりました。

赤十字活動を支え親睦を図る赤十字有功会

七月三十日（水）、鹿児島市の「鹿児島東急イン」において平成二十年度鹿児島県赤十字有功会総会が開催されました。

総会には、大野芳雄有功会会長をはじめ、六十二人（社）が出席されました。

平成十九年度の有功会の事業報告及び収支決算、平成二十年度事業計画、収支予算や役員改選について協議を行い、有功会の目的達成に向けた事業の推進や日本赤十字社に対する協力を一層強めていくことを決定いたしました。

また、記念講演では、鹿児島市維新ふるさと館館長福田賢治氏に「篤姫と薩摩」と題してご講演をいただき、参加者の皆さんは興味深く聞き入っておられました。



「篤姫と薩摩」という演題で記念講演をしていただきました。

■大自然の中で青少年赤十字のリーダーを養成

青少年リーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）が日本赤十字社鹿児島県支部並びに県青少年赤十字指導者協議会の共催で開催されました。

このトレセンは、毎年夏休み期間中に行われている青少年赤十字関係の最大のイベントであり、小学生五十二人、中学生四十八人、高校生二十二人の合計百二十三人が参加し、合図のない生活（チャイムや号令等ではなく時計や掲示板を見る等して自ら行動すること）を通して、赤十字の精神、各学校における青少年赤十字活動の情報交換・救急法等の演

習などのプログラムが行われました。また、各学校から多くのリーダーが参加し、リーダーとしての心構えも学び、あっといふ間の三日間でした。

また、今回は鹿児島県赤十字有功会から青少年赤十字マーク入りの帽子が百一十個贈呈され、さっそくフィールド・ワーク（野外活動）において利用させていただきました。

連日の強い日差しの中での活動でしたので、児童・生徒も喜んで着用していました。有功会の皆様方には心から感謝申し上げます。



いざというときのために応急手当の仕方を学びました。（中学校リーダーシップ・トレーニング・センター）



有功会からいただいた帽子を被って記念に一枚（小学校リーダーシップ・トレーニング・センター）

小学校リーダーシップ・トレーニング・センター
…8月5日～7日 県立霧島自然ふれあいセンター
中学校リーダーシップ・トレーニング・センター
…8月6日～8日 国立大隅少年自然の家
高校リーダーシップ・トレーニング・センター
…8月10日～12日 県立霧島自然ふれあいセンター

■安全なまちづくりを目指して

～日鹿児島県支部もはじめて化学防護服を着用して救急訓練に参加～

九月九日（火）、鹿児島市与次郎において、鹿児島市消防局の主催で、鹿児島市医師会等五団体百二十七人が参加し、平成二十年度集団災害事故救急訓練が行われました。この訓練は救急（九／九）の日にちなんで、昭和四十五年から毎年行われており、今回で三十九回目になります。

訓練は、不特定多数の者が宿泊するホテルで硫化水素ガスが発生し、多数の傷病者が発生していることを想定に実施され、日本赤十字社鹿児島県支部からは、医療救護班一個班（医師一、看護師長一、看護師二、主事二 計六名）

に連絡調整員四名を加えた十名が参加しました。

ガスをたくさん吸って意識のない方、気分の悪さを訴える方等、多数の傷病者が救護所に連れて来られるなか、日赤医療救護班は、鹿児島市医師会（DMAT）や鹿児島市消防局と連携を取りながら傷病者の手当てや救急搬送を行いました。

暑いなか、化学防護服に身を包み、大量の汗をかきながらの訓練でしたが、各機関と協力し合いながら、迅速に救護訓練を行うことができました。

鹿児島市医師会鹿児島会長は講評のなかで、「災害が起きないことが望ましいが、日本ではいつどこかで災害が起きています。実際訓練して動いてみたことで問題点が出てくるので、それを検討して、鹿児島市民にとって安全なまちづくりをしていこう。」と語りました。

その後、次の訓練に生かせるよう、各機関で反省点や良かった点等意見を交換し合い、訓練は終了しました。

※DMAT（Disaster Medical Assistance Team）：災害の急性期（概ね四十八時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームのこと。



化学防護服を着て、傷病者の衣服をハサミで切り取っていく救護員たち

聞いて
効いて
vol.46

「介護保険ってなあーに？」



鹿児島赤十字病院居宅介護支援事業所
介護支援専門員(ケアマネジャー) 下野 亮子
しもの あきこ

私は、鹿児島赤十字病院居宅介護支援事業所の介護支援専門員(以下・ケアマネジャー)です。

鹿児島市の南部に位置し錦江湾に面した病院です。当院には鹿児島市内はもとより、県内一円及び広くは県外からもリウマチ科・整形外科・脳神経外科・内科等の治療を受ける為に、たくさんのお患者様が来られます。時々、患者様と介護保険に関するお話をする機会があるのですが、たいていの方は「介護保険料は支払っているがよくわからん」とか、「高い保険料を払っているだけで何もならん」との返答が多くかえってききます。また介護保険をご利用されている方でも、ヘルパーさんやデイケアといった実際に利用しているサービスの事はわかってても、ご自分の担当ケアマネジャーさんのお名前や、業務内容についてわかっていない方が少ない気がします。

介護保険制度は平成十二年よりスタートして今年で八年目になります。今回は、介護保険制度について少しお話をさせていただきます。近年高齢化が進み、核家族化や女性の社会進出・少子化などで介

護のできる若い人達の数が減少し、介護が必要となった時に家族だけで介護を行うことが難しくなっています。このことより「介護が必要となった状態になっても、できる限り自宅や地域の中でその人が有する能力に依り、自立した日常生活を送れるよう社会全体で高齢者等の介護を支援しましょう」とできたのが、介護保険制度です。

そのための専門職であるケアマネジャーは、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等に所属し、サービス計画書(ケアプラン)の作成・サービス事業所との連絡調整等の業務を行っています。また必要に応じて介護保険の相談対応・介護保険申請等の手続き代行を行っています。

たとえ介護を必要とする状態になっても、可能な限りその人の有する能力に依り、「自立した生活を営むことができるよう」本人はもとより、まわりも支援していくことが大切だと思っています。そのお手伝いを私たちがケアマネジャーがさせていただきます。自分達で問題を抱え込まず是非、最寄りの居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、もしくは当院へご相談ください。



カンファレンスの様子



錦江園 夏祭り&花火大会

八月九日(土)、玄関前広場で錦江園夏の一大イベント「夏祭り&花火大会」が行われました。当日は、あいにくの曇り空で屋外での開催が心配されましたが、皆さんの熱気で雲も吹き飛び、無事に言うことができました。

地元平川の太鼓グループ「飛天」の皆さんの勇壮な太鼓で幕が開きました。今年は、地元平川町内会や、利用者の娘さん・お孫さん、前介護長・元介護長による踊りが加わり、祭りをいっそう盛り上げ、総おどりで最高潮に達しました。職員手作りの焼そばやだんごなどの屋台には行列がでぎ、一喜一憂の抽選会のものち、色とりどりの花火が打ちあがり、錦江園の夜空にきれいな花が咲き、瞬く間に真夏の楽しい時間は過ぎていきました。



総おどりで盛り上がりました!